

ハトムギ栽培情報 第3号

去年は、6月中旬～7月上旬の定期的な降雨により、培土や追肥が遅れ、生育量不足と雑草害により、収量が低下しました。

今年は、早めに中耕や培土作業を行い、収量を確保しましょう。

● 中 耕（平床播種の場合）

・播種後 15～20 日を目安に中耕を行い、雑草を抑えましょう。

● 培 土

・1 回目は、播種後 35 日頃（草 50～60cm）に第 1 葉に土がかかる程度としましょう。

・2 回目は、播種後 50 日頃（草丈 80～90cm）を目安に作業を行いましょう。

● 追 肥

・分施肥の場合は、培土時に「LPコート 100 40kg/10a」を追肥しましょう。

● 雑草防除 今年から、「プリグロックスL」が使用できます。

薬剤名	適用雑草名	使用時期	使用量、使用回数	注意点
バサグラン液剤	一年生雑草 (イネ科除く)	生育期(雑草の3～6葉期)但し収穫45日前まで	薬量 150ml/10a 水 100L/10a 2回以内	ヒエに効果無し。
プリグロックスL	一年生雑草	畦間処理:雑草生育期(出穂前まで)但し、収穫60日前まで	薬量 600～1000ml/10a 水 100～150L/10a 2回以内	ハトムギにかからないように、飛散防止カバーを使用する。

● 病虫害防除

・イナゴ類の発生が多い地域での防除対策

ハトムギで、イナゴ類に効果がある農薬はありません。イナゴ類は、6～7月に孵化し、畦畔の雑草をエサにします。集落ぐるみで、草刈りを徹底し、エサ場をなくしましょう。

○病虫害防除

	1 回目	2 回目
防除時期	6 月末～7 月初旬	7 月下旬
対象病虫害	①アワノメイガ ②葉枯病	アワノメイガ
使用基準 および 希釈する 水量	①サブリーナフロアブル 薬剤 150ml/10a 水 150L/10a ②ロブラール水和剤 薬剤 150g/10a 水 150L/10a	トアロー水和剤 CT 薬剤 150g/10a 水 150L/10a 又は パダン粒剤 4 4kg/10a

※連作ほ場では、葉枯病（ロブラール）の追加防除も検討しましょう。